

軽油にLPガス混合

だるまエナジー(本社・東京、古田洋二社長)は城東自動車工場(同、鈴木啓一社長)と共同で、今年度の構造改善支援事業で最新のディーゼルトラックを軽油とLPガスの混合燃料で走らせる実験を行う。原油高で軽油価格も上がり、トラックユーザーの燃費削減意欲は高い。割安なLPガスが一部でも軽油を代替できるとなれば、大きな注目を浴びそうだ。

トラック向け開発へ

同社は2〜4ト積みディーゼルトラックを使うグループをPRする。ディーゼルトラックは、普通は軽油と、過去には混合燃料でのみで走るが、これにLPガスを入れていき、最新のディーゼル車を境意識の高いユーザーが

だるまエナジー 構造改善事業で検証

これまでLPガスの割合を増やせるか検証する。その混合燃料で走ったとき、の経済性や走行性能も調べる。これらの結果をもとに、トラックユーザー

同社は2〜4ト積みディーゼルトラックを使うグループをPRする。ディーゼルトラックは、普通は軽油と、過去には混合燃料でのみで走るが、これにLPガスを入れていき、最新のディーゼル車を境意識の高いユーザーが

混合燃焼のよさを表現できれば、既存ディーゼル車も合わせて相当数のトラックがLPガス需要家として見込める。少しでも混合できれば、全体的なLPガス需要は奥大になる。

一方で最新ディーゼル車は、環境負荷対策など過去にはなかった技術や設備が備わっており、機構が複雑化している。どのような実証試験結果が出るか注目される。